

ふるさと通信  
TOMISATO

No.117

どんぶり

「富里地域ふるさと協議会」は、JR 柏駅から南柏駅に位置する 7 つの町会で構成されています。近隣センターを拠点に、町会の垣根を越えて、福祉活動や地域住民の交流を図り、住みよい生活環境づくりをめざして活動しています。

発行：富里地域ふるさと協議会・富里地区社協部会  
http://www.fk-tomisato.net/

編集・制作：広報部 koho@fk-tomisato.net  
お 問 合 せ：TEL 04-7173-9531 (富里近隣センター)



## 防災に強くなるために

訓練には積極的に参加を！！

大きな災害の時「訓練を受けていても訓練通りにはできない」「訓練していない人は何も対処できない」といわれます。町会や自



主防災組織、消防署などの防災訓練に参加した人に聞いてみました。

「通報訓練で消防署の人と電話でやり取りをしたが、自分の家の住所や電話番号がとっさに答えられなかった」（緑ヶ丘、40代主婦）。消火の初動には正確な情報が必要ですが、パニックにおちいりがちです。電話機の前に、住所、電話番号を貼っておくのも対策のひとつ。子供でも答えられます。AEDの講習会に 5 回参加したという 50 代の主婦（豊東）は「機械が音声でガイドしてくれますが、初めての



人にはとても無理。5 回体験してやっと救急救命の最初の対応から AED の操作法を体で覚えることができました」と、体験を重ねることの大切さを強調。やはり救急救命の講習

会で毛布と棒を使った即席の担架の作り方を学んだという 60 代の男性（富里）は「作り方は簡単ですが、実際に人を乗せてみたら、男性 2 人で持ち上げるのがやっと。とても遠方へは運べない」と、その重さを実感。いざという時には人をたくさん集めることの大切さを体験したと言います。身近な場所で行われる訓練に積極的に参加して、対策を身につけるようにしましょう。



## 身近なものを利用しよう

応急手当普及員のアドバイス

災害で救急車が出動できない時など、身近のものを活用する応急手当や、身の回りのものの利用法などについて、柏市消防団第 2 方面隊副隊長で応急手当普及員の穴澤正行さんに教えてもらいました。

骨折した腕や足を固定する副木には、新聞、段ボールなどを。新聞ならグルグル丸めて棒状にし、食品用ラップで包めば出来上がり。腕を支える三角巾の代用にはスーパーのレジ袋を。袋のマチの部分

底まで切り、底を腕の支えとし、持ち手を首にかければ OK。大きめの袋がいいでしょう。「出血」は直ちに止めたい。傷口に清潔なガーゼ、ハンカチ、タオルなどを当てて強く押さえ止血するのが**直接圧迫法**。血液による感染を防止するためのゴム手袋が必要です。無いときは**ビニール袋**などを手袋代わりに。やけどをした場合は流水で冷やし続ける。皮膚に裂け目のない小さなやけどは、清潔な水を浸したガーゼで冷やす。深刻なやけどは乾燥した清潔なガーゼで覆って感染を防ぎます。

心停止が疑われる場合、胸部マッサージや AED の助けが必要で、これは代用ができません。すばやく確実に行うことで救命の確率は高くなります。訓練をしっかり受けておきましょう。

## 覚えておけば役に立ちます

新聞を衣服と体の間に詰めて”中綿”として防寒に。大きめのポリ袋に丸めた新聞を入れて足を入れれば、これも防寒に役立ちます。



ゴミなどを入れ

る大きな**ポリ袋**は、そのまま頭からかぶればレインコートに。底と両脇に穴をあけ、さかさまにして首と両腕を通せば”ポンチョ”に。何枚も重ねれば寒さにも対応できます。中に新聞紙を入れてトイレに。食器に**ラップ**をかければ、器を汚さずにすみす。丈夫で粘着力もあるので、副木の押さえや包帯の代わりになります。ロールから引っ張り出して使うので意外に清潔。**アルミ箔**は数枚を重ねて食器に。火が使えるならば、鉄製のスコップなどの上に敷いて、鍋の役目も。



大災害の備えとして、食料や水の備蓄は大切ですが、避難所では用意できないもので、命に係わる大切な**常備薬**等を優先的に準備しておきましょう（高血

圧、糖尿病、心臓病など）。処方箋の写しがあれば安心。体の一部となっているメガネや入れ歯も同様。災害時につながらやすい公衆電話の利用や自動販売機で水や食べ物を買うのに欠かせないのが**小銭**。家族の安否確認や、さまざまな連絡に不可欠の携帯電話には**充電器**があれば、より安心です。懐中電灯も忘れずに！



# であい ふれあい 楽しい地域

## 秋のイベントのお知らせ



### 第35回ふれあいの集い体育祭

10 月 16 日(日) 柏第三小学校

今年の体育祭は柏三小校庭で実施します。大玉送り、つなひき、町会対抗リレーなど町会対抗競技は、8 種目。ほかに、パン食い競走、紅白玉入れ、障害物競走、デカパン競走など、小学生や親子で参加できる自由競技が 10 種目。昨年からはじめた” 富里のギネス” 下駄とばし記録会も盛り上がりそう。昨年は緑ヶ丘町会が対抗競技で 3 連覇を達成しましたが、今年は？ 選手としての出場や応援参加の申し込みは、各町会単位で行われます。詳しいことは各町会にお問い合わせください。



## 第33回文化祭

11 月 5 日(土)・6 日(日)

富里近隣センター

文化祭は、例年どおり一般から出展の書、絵画、写真、生け花、手芸などの作品のほか、柏三小、豊小児童の書と絵画、柏めぐみ園、くりの木幼稚園児の「おえかき」などが展示されます。また、柏三小合唱部、柏三小 P T A ママさんコーラスの合唱も。ゲーム大会など遊びを楽しむ子供ガーデンや、5 日はお茶席も設けられます。体育祭や各町会の夏祭りの写真を集めたスライドショーも新たに登場。駐車場には各町会が趣向を凝らした模擬店を出店します。出展の申し込みや詳しいイベントの内容については、回覧やポスターを参照してください。

7 月

## 地域の夏まつり

### 香取神社祭礼

7 月 17 日・18 日

通一丁目町会と栄町町会の神輿が、香取神社の神輿御霊入れ神事の後、町内を威勢よく神輿お練りを行い、道行く人達を楽しませました。



旭町にある香取神社は、柏駅東口と西口周辺の 6 町会、通一丁目・栄町・末広町・旭町・三区二丁目・小柳町の氏神様です。香取神社の

夏の祭礼には、各町会の氏子総代が本殿の奉納神事に参列し、町会の安寧と繁栄を祈願します。



### 南柏まつり

7 月 23 日・24 日

南柏駅西口広場

豊東の柏元気太鼓のメンバーは毎年、花自動車に乗って、柏まつりのオープニングパレードに参加してきました。しかし、今年はパレードに車両の乗り入れが禁止されたため、舞台を南柏まつりの会場に移し、日頃の練習の成果を披露しました。



柏市立豊小の金管クラブが南柏まつりに参加しました。豊小は、南柏駅周辺が豊町東町会と共に通学区域で毎年、金管クラブが南柏まつりのイベントに出演します。今年もメンバーが見事なハーモニーで明るく・爽やかな音色の演奏をして、会場の聴衆を魅了させました。



### 柏まつり

7 月 30 日・31 日

柏駅東西中心街

富里町会の子供みこしが、31 日のみこしパレードに今年も参加。天気予報は雨模様でしたが、



みこしの出発時には太陽が顔をだし 28℃、83% とちょっと蒸し暑いくらいの気候。子供たちは元気よく「ワッショイ、ワッショイ、ワッショイ」と掛け

声をかけてみこしを担いでいました。今年の子供みこしの参加数は 105 名(子供 55 人、保護者 50 人)。「今年も錫杖を持って先頭を歩きましたが、今年は余裕をもって楽しく歩けました。来年もお祭りには是非参加したい」(倉持梨帆さんと遠藤麗咲さん・5 年生)。





# 8月 町会の夏まつり



## 手持ち花火に子供達は大満足！！

栄町町会 8月8・9日 二松学舎駐車場

納涼盆踊り大会恒例のこども花火タイムでは、モウモウとたちこめる煙をものともせず、手持ち花火に興じる子供たちの熱気に溢れたひと時でした。



盆踊り・スイカタイム・高い櫓の上での太鼓打ちなど、他町会からも大勢の参加があるとか、特徴がよく出ていました。



## 踊って、食べて、楽しかった・・

富里町会 8月26・27日 近隣センター

今年も富里近隣センターの裏庭と駐車場で2日にかけて納涼盆踊り大会が開催されました。櫓の上から子供たちの太鼓の競演と盆踊り大会、そして焼鳥店等模擬店が数多く出店され、大変盛り上がりました。特に焼きそば店は初日開店時から行列が出来、一日の予定数を早目に完売しました。



今年も富里近隣センターの裏庭と駐車場で2日にかけて納涼盆踊り大会が開催されました。櫓の上から子供たちの太鼓の競演と盆踊り大会、そして焼鳥店等模擬店が数多く出店され、大変盛り上がりました。特に焼きそば店は初日開店時から行列が出来、一日の予定数を早目に完売しました。



## 楽しみイッパイの夏祭り

豊町西町会 8月28日 豊町第3公園

マンションが建ち並ぶ一角にある豊町第3公園で、夏祭り盆踊り大会が開催されました。昨年はあいにくの雨で中止になり残念でしたが、今年は途中小雨模様にも拘らず盛大に行われました。盆踊りや太鼓等賑やかに行われ、人気の花火大会に大きな歓



声があがり、そして、フィナーレは恒例の抽選会で、豪華な景品（ユニークな羽根なし扇風機等々）に大盛り上がりでした。



## 組太鼓の連弾と踊りに大喝采！！

緑ヶ丘町会 8月6・7日 一本松公園



町会の祭り自慢の一つは子供グループの太鼓囃子で、プロの太鼓集団「呼魂（こだま）太鼓」の加藤先生の指導で日頃から熱心に練習を励んできました。祭りの始まりの寄せ太鼓・輪踊り・踊りの休みの間と、19

名が交代で、四拍子をリズム良く軽快に太鼓を叩き、上達の成果を披露して会場の雰囲気を大きく盛り上げました。さらに、スペシャル・イベントとして、「呼魂太鼓」のオリジナル曲「シャメュー」を、太鼓メンバーによる踊りとメンバーのOB・OGの組太鼓6張の連弾とで披露し、来場者の盛んな喝采をもらいました。



## 雨を逆手に子供も大人も遊びました

豊町東町会 8月19・20日 豊小学校校庭

夏祭りの1日目の参加者は2500名を数え、広大な校庭を埋めつくして壮観でした。また焼きそば、イカ焼き、金魚すくいなど、工夫を凝らした20余りの売店が盛況を極めるなか、豊町東子供会の柏元



気太鼓と京優会のリードで盆踊りが始まり会場は大いに盛り上がりしました。

2日目は前夜からのあいにくの雨で、売店を除き、用意されたイベント

は残念なことに全て中止された。校庭は少しぬかるんでいたが、時折小雨が降るなか、予想以上の来場者があり、開店した売店の用意した材料は全て使い切ったとのこと。また、手作りの即席ウォータースライダー？が提供され、勇気あるプレーヤーに観客は大声援を送っていました。





## 国会を見学

### 日帰り研修



ふるさと協議会の今年の研修は、国会見学。市の福祉バスの廃止により、電車を利用した初の研修。9月9日参加者33人が参加し、常磐線(千代田線)で国会議事堂へ。8時

台の電車はラッシュ気味で、約1時間の乗車は、久しぶりの”通勤気分”でした。見学したのは衆議院。議事堂を正面から見て中心から左が衆議院、右が参議院。建築面積は全く同じで、建物の構造も同じという左右対称の造りです。議事堂全体の入り口「中央玄関」は普段は閉

じられ、天皇陛下をお迎えする時や、通常選挙後の初登院の日に開けられます。伊藤博文、板垣退助、大隈重信の銅像が立つ「中央広間」、総檜造り本漆塗りの「御休



所」、その昔議員が馬車で登院したという「中庭」などを見て回りました。今年で80年を迎えるという建物は重厚でどっしりしており、”国権の最高機関”の貫禄を感じます。有名な「赤じゅうたん」は廊下や階段に敷かれ、その長さは4キロにも。見学のメインとなる本会議場は、テレビ中継で見ると少し狭く感じました。傍聴人席も狭く窮屈なのは、80年前に作られたせい？ この場所で国民のためになる議

論をしっかりとやってほしいというのが、参加した人たちの共通の思いでした。



## 80歳の111人にお祝い

### 地区社協部会

敬老会のイベントとして毎年80歳となる方へカステラをプレゼントしています。今年80歳を迎える方は、富里地域で111人。9月15日に各地区の民生委員がそれぞれの自宅を訪れ、カステラを手渡して長寿をお祝いしました。町会別の人数は、



|     |     |
|-----|-----|
| 豊東  | 36人 |
| 富里  | 25人 |
| 緑ヶ丘 | 14人 |
| 栄町  | 14人 |
| 豊西  | 10人 |
| 通一  | 6人  |
| 泉町  | 6人  |

## ● お子さんと一緒に参加しませんか

### 児童保健福祉部

子育てサロン「どんぐりすくすくクラブ」の10月からの開催予定が決まりました。この催しは協議会が子育て支援として行っています。就園前の乳幼児とそのお母さんに集ってもらい、子育ての悩み事などに



ついて支援のボランティアさんらと話し合いをしたり、遊びを楽しんだりします。会場は柏三小と豊小のこどもルームの2か所。毎回午前10時～11時30分。参加費無料。事前申し込みは不要です。直接会場へどうぞ。

### 【開催日程】

柏三小 10/5、11/2、12/7、1/11、2/1、3/1

豊小 10/20、11/17、12/15、1/19、2/16、3/9

## ● ゴルフ大会の参加者募集

### 体育部

恒例のふれあいゴルフ大会を10月28日(金)に実施します。会場は東我孫子カントリークラブ(我孫子市)。

申し込みは富里近隣センターへ



## ● 「おでんの会」へどうぞ

### 高齢者福祉部

ひとり暮らしの高齢者を対象に、毎月開かれている食事会。10月19日(水)は秋恒例の「おでんの会」です。温かいおでんを楽しんで下さい。会場は富里近隣センター和室。11時～午後3時。



### 編集後記

突然、心臓や呼吸が止まってしまった場合、居合わせた人が救命処置をすることで救命率は高くなります。総務省消防庁のデータによると、平成26年に全国で要救助者に居合わせた人がAEDを使った割合は約4%にとどまっています。日頃から講習会などで救急救命の手順やAEDの使い方を身につけておくと、いざという時に役立つのです。今号の一面は防災がテーマ。訓練に参加した人に聞くと、まごついたり、意外な発見をしたりとさまざまですが、何回も訓練を重ねて、体で覚えたという主婦の体験談が印象に残りました。町会や自主防災組織などが行う防災訓練に積極的に参加して、災害に備えていただきたいと思います。

(広報部)